

速報!
2008年
夏

R E P O R T

第1回 小学校国語教育セミナー

主催:三省堂

2008年7月30日に「第1回 小学校国語教育セミナー」を開催いたしました。
どのワークショップも、活発な交流とたくさんの学び合いが生まれました。参加者の声を紹介します。
詳しい内容は、三省堂のウェブページに掲載しています。(http://www.sanseido-publ.co.jp)

ワークショップ A

支え合ってつくる「書くこと」のカタチ

大杉 稔



・学び合うことにより、よりよいものを書くことができると、実践例を挙げながらお話しくださり参考になりました。

ワークショップ E

物語の森を仲間と歩けば

—読書へのアニメーション・ぼくらは物語探偵団—

岩辺 泰史



・「アニメーション」とは何かが大変よくわかりました。
・子どもになったつもりで楽しく参加できました。

ワークショップ B

「読むこと」の授業づくり

宮川 健郎



・詩の捉え方は、色々あってよいということを感じた。
・詩の指導が苦手だったが、先生方と教材研究ができました。

ワークショップ F

力のつく、楽しい説明的文章の授業づくり

吉川 芳則



・教材を読みながら、子どもの立場になったり、指導者の立場になったりすることで、「読み」の視点がわかりました。

ワークショップ C

「読むこと」の挑戦! —説明的文章の授業改革—

河野 順子



・子どもたちの視点から考えた授業の流れがよく分かった。自分がいかに考え方が固いのが反省しました。

ワークショップ G

フィンランド・メソッド入門

北川 達夫



・国語の時間での児童への発問から、様々な考えを引き出すことが出来ることを知り、大変よかったです。

ワークショップ D

楽しく力のつく朗読・群読の指導

高橋 俊三



・高橋先生のお話・ダジャレ、ステキでした。群読の作り方を教えていただけだったので、早速授業に生かしていきたいです。

ワークショップ H

メディア・リテラシーを生かした授業改善

—新時代に求められる「読み書き能力」をどうやって育成するか—

中村 敦雄



・先生の人柄に吸い寄せられ、あっという間の時間でした。新しい視点を与えていただき、授業の構想を得ました。

シンポジウム

コーディネーター 尾木 和英
シンポジスト 阿部 藤子
大木 圭
コメンテーター 角田 元良
井出 一雄

「言語の教育

—習得・活用・探究の具体にせまる—



文化講演

平松 洋子さん

「味覚を育てる、
ことばを育てる」

